

議会運営委員会会議録（令和4年6月6日）

出席委員 岩城委員長 竹原副委員長 大浦委員 古沢委員 開田委員 中川委員
高橋議長（オブザーバー）

欠席委員 なし

説明のため出席した職員 なし

職務のため出席した事務局職員 落合局長 中田係長

午後0時36分開会

【岩城委員長】 これより、議会運営委員会を開催いたします。

会議日程は、お手元に配付してあるとおりであります。

日程第1 会議録署名委員の指名をいたします。竹原副委員長、古沢委員にお願いいたします。

日程第2 請願について、議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

【落合局長】 今回の市議会定例会の請願、陳情、意見書提出要請等の最終受付、6月1日でありましたが、それまでに請願書が新たに1件提出されております。

「消費税率5%以下への引き下げとインボイスの中止を求める請願書」で、政府へ意見書の提出を求めるものでございます。紹介議員は古沢利之議員、請願者は新川民主商工会会長・脇しげお氏であり、請願の趣旨説明の申出はございません。この後、この請願についてどのように対応するか協議願います。

以上です。

【岩城委員長】 ただいま事務局から説明がございましたが、この請願についてどのように対応するかということになります。請願、どの委員会に付託するかということになりますので、皆さん方からご意見をお伺いしたいと思います。

内容から言えば、議運か総務文教委員会かになるんでないかなという形ではありますが、紹介議員が古沢議員ということになります。そういう形になっていけば、今までは、紹介議員の委員会では審議しないということは前例にしておりますので、私は総務文教でどうかなという形がありますので、皆様方のご意見をお聞かせください。

よろしいですか。

【開田委員】 じゃ、当事者もいらっしゃるので、総務文教と言われれば、それでいいと思います。

【岩城委員長】 皆さん、よろしいですか。

(異議なし)

【岩城委員長】 ということになれば……

【古沢委員】 この件については、それでお願いしたいと思いますが、この件とはちょっと別に、一応先例で、紹介議員が所属する委員会に付託する、紹介議員にはならないという先例があるんですが、か、全国的にどういう状況になっているかというのは、私、調べていないので分からないんだけど、この先例ができたときというのは、議員数も多くて、委員会も3つぐらいあった時代だと思うんですよ。今、常任委員会は2つしかないわけです。そうなってくると、所属する委員会に付託する請願の紹介議員にはならないということになってくると、極めて限定的なものになると思っていますので、今日は別として、ぜひこの先例の見直しを一度議論していただきたいというふうに思っています。

【岩城委員長】 今、古沢委員からの話にあります先例ということで、いろいろと縛られてしまうという形になると思いますということでもあります。

私もちょっと調べてみたら、かつては定数26、そして定数20名というときに3委員会があったというわけでもあります。その中で、いろいろと制約を自分らで持っておりまして、監査委員には業者出身の方はないとか、産業建設委員会の委員には入札業者は入らないとか、いろいろと前例がありました。そこら辺りはそれぞれなくしてきておるといようなことでもあります。

そういう点から言えば、今回、古沢委員からの提案でございます。一遍議運のほうでも心当たりの先例を皆さん方でお話しできればという思いでございますので、議運でこれから一つの議題としてやっていければと思いますので、皆さん方、どうでしょうか。

【大浦委員】 何かそういった先例って、記載された物がないんでしょうか。

【古沢委員】 先例集はある。

【大浦委員】 ああ、先例集があるんですか。

【古沢委員】 議会提要の中にあります。

【大浦委員】 先例集は結局、あくまでも規約のうちには入らないわけじゃないですか。自分も議会に入ったときに、何かそういった事項がすごく優先されるようなことをたくさん言われたんですけど、決まり事じゃないんですけど、どうしてもそれが決まり事という

強調をされる事務局が特にあったので、これは本当に見直して、その先例というものがどこまで有効なのかというものは、本当に話をしたほうがいいなというふうに思います。

【岩城委員長】 いろいろ、先例、先例ということでやっていることもあります。また、その都度、何か出てきたら、見直しとか、皆さん方と協議していければと思います。

今言われたように、先例集もありますので、これはいかがかなという、大分議員の定数も、今は15名ということになっておりますから、ちょっと考えていかんにやらんことがいろいろな範囲であるのではないかなと思います。

そういうことで、これから協議をしていければと思いますので、お願いをいたしたいと思います。

【古沢委員】 さっき局長から報告があったとおりで、6月1日に早稲田大学の北川研究室から改革度ランキングが発表されて、初めて議運に来たときに45位と聞いてびっくりしたんですね。去年、おととしと、正直に言って、何かしたという認識は全くないので、中身、かなりの項目があって、チェックを入れていただいて変更していただいているがかと思いますけど、それも改めて共通の問題意識を持っていただいて、ちょっと余計なことを言うけど、今回45位で、さっき岩城委員長とも話ししておったけど、ほかから視察に来られる可能性が出てくるがやちゃ。過去にもあったので。

こういう、言うてみりゃ、さっきの話じゃないけど、小さいところで頑張っておられるねという評価になって視察に来られたら、むしろこちらがちょっと焦ってしまう。

なので、やっぱりお互いにちょっと意識をして、議会改革については関心を持って、引き続き努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

【岩城委員長】 事務局にお願いしたいがだけでも、詳しいデータが来たら、こちらのほうでもちょっと、去年、おととしと今年と何が違う。今年というか、去年の実績だと思うんだけど、どういうところがアップしてこういうことになったのかという、私らは、いまちちょっとぴんと来んというのは非常におかしい話なんだけど、ひとつ調べておいってください。

この45位というたら、多分、去年、二百九十どだけか何かだったと思うがやちゃね。

【古沢委員】 300ぎりぎりだった。

【岩城委員長】 そしたら、こういう状況で視察に来るといふ議会が、四、五年前のときは4つか5つほど続けて来られたことはあったから、ちょっと調べておいてもらいたいなという思いであります。

【落合局長】 ちょっと手元に資料は持ってきていないんですが、大きく3項目ほどありまして、中でも住民参画という、そういう項目が二十何位になったというふうに見ております。

その中で、そのアンケートの回答の内容を見ていますと、例えば、子どもたちに、そういう主権者教育に近いようなことをやっているとか、傍聴しやすい環境をつくっているかどうかとか。うちは傍聴しやすい土曜議会というものをやっていますし、昨年、一昨年と、子どもサミットをこちらの議場のほうでやっていて、そういうようなことも寄与しているというところが評価されたのかなというふうに事務局では見ております。

【岩城委員長】 何かちょっとまた調べておいてください。

【落合局長】 はい。

【岩城委員長】 そのほか。

(質疑する者なし)

【岩城委員長】 では、ほかに。

これで、いいがかな。

あんた、日程を言うがやったけ。

【落合局長】 いえ、日程は。

【岩城委員長】 なん、なん、委員会のやつの、総文の日程のやつ。

【落合局長】 総文のほうに付託するというのであれば、質問2日目の14日の本会議終了後に総務文教消防委員会を会議日程に追加ということになると思います。

そこで趣旨説明して……

【岩城委員長】 そこで説明があるがやな。

【落合局長】 を求めるかどうかというのを。

【岩城委員長】 委員会は開くということやな。

【落合局長】 はい。

【岩城委員長】 その他で、事務局から連絡事項は、あと何か。

【落合局長】 その他ということで、1件お願いします。

議員派遣についてでございます。

現時点でこちらのほうで把握しているものとしまして、7月2日の関西滑川会総会出席に尾崎副議長。それから、7月12から13の1泊2日で産業厚生建設委員会の行政視察。同じく7月28、29で総務文教消防委員会の行政視察というものが現時点で分かっていると思

いますので、6月定例会の最終日に追加して上程したいというふうに考えております。

以上です。

【岩城委員長】 議長、あんた、行かれんがか。

【高橋議長】 どこか。行きます。

【岩城委員長】 関西。

【古沢委員】 なーん、議長は派遣にならんが。

【岩城委員長】 議長は行けん。あ、そういうことか。派遣にならんがか。

分かりました。ご苦労さまです。

では、次回の議会運営委員会は、6月14日火曜日午前9時から開催いたします。

本日の議会運営委員会を終了いたしたいと思います。

お疲れさまでした。

午後0時48分閉会